



カリフォルニア大学マーセド校

University of California, Merced



●学部学生 約7,900人 ●大学院生 約670人
 ●教員 約250人 その他 約1,279人 ホームページ <https://www.ucmerced.edu/>
 交流協定締結年月日：2019年6月14日 主管学部：医学部

アメリカ合衆国



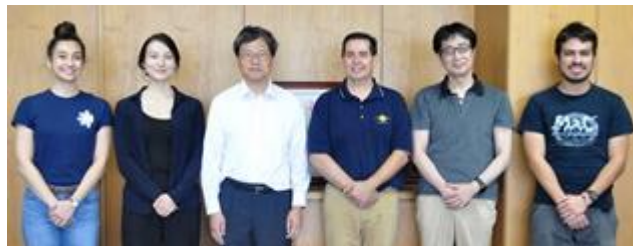
news.ucmerced.edu

国際交流の特色

カリフォルニア大学マーセド校は、2005年9月5日にカリフォルニア州立大学の最新キャンパスとして、また21世紀初のアメリカの研究に特化した大学として開校した。ヨセミテ国立公園の近くに位置するこのキャンパスは、州全体の学生のためにアクセスを大幅に拡張し、サン・ホアキン・バレーの学生の大学進学率を高める特別な任務を果たしている。また、高度な研究、持続可能な設計と建設のモデル、そして地域全体の経済成長と多様化への刺激の主要な基盤としても機能している。現在は工学、自然科学、および社会・人文・芸術科学の3つの学部で、23の学部専攻と25の副専攻コースを提供している、また大学院においては、生物工学や、化学・化学生物学を含む18の大学院教育プログラムが提供されている。広大な土地にキャンパスが拡大を続けており、今後の大きな発展が期待されている。

交流実績（平成29年度～31年度）

年度	H29	H30	H31
受入・派遣			
学生の受入	4	4	3
学生の派遣	0	0	1
研究者・職員の受入	1	1	1
研究者・職員の派遣	0	0	0



2019年7月29日に、米国カリフォルニア大学・マーセド校 (University of California Merced)の自然科学部・Rudy Ortiz 教授と学生3名より、上田医学部長へご挨拶がありました

教員からの声

カリフォルニア大学マーセド校は特に生命科学の分野で高い水準の研究活動を展開しており、香川大学の間では、平成18年度以降、薬理学講座において盛んな交流がなされてきました。特に共同研究のため、毎年研究者や大学院生を受け入れており、これまでに12編の英文論文を発表するなど、大きな成果を挙げています。こうした顕著な交流実績を基に、2019年6月14日に部局間協定が結ばれました。この交流協定の締結によって、今後の学生や教員の交流の基盤を盤石なものできるとともに、研究面においてもさらなる発展が期待できます。協定の締結を受けて早速、2020年1月から3月まで、医学部学生1名が派遣され、研究活動に参加しました。

医学部教授 和田健司

学生からの声

カリフォルニア大学マーセド校のRudy's Labに6週間留学し、生物学研究に携わりました。ラボでは主に糖尿病など腎臓に関する研究を行っており、医学生にも馴染みのあるものでした。出発前の研究に対する緊張と不安はかなりのものでしたが、これまでの医学実習で培った知識を活かしました。研究室への留学に興味がある人はぜひ積極的に行って欲しいです。また、現地で行った場所は数知れず、書ききれないくらいの思い出があります。何を見ても何をしてても全てが新しく、新鮮な経験でした。私にとっての留学は研究がメインであり遊びに行くわけではありませんでしたが、そうした現地でしか得ることの出来ない経験もまた、貴重な財産となりました。

医学科4年 草野 湧